

# 人交密度向上プロジェクトの推進と令和5年度の取組

## 現状と課題

① 岩手県に関する様々な情報やサービスの配信など、いつでも岩手につながる事ができる環境の整備

### 【現状】

- ・Facebook「いわてのわ」を構築し、岩手とつながる情報を発信
- ・SNSや動画・映像を活用した国内外へ岩手の魅力発信
- ・U・Iターンの促進に向けた取組の実施

### 【課題】

- ・多様な関係の創出に向け、ターゲットを意識したSNS発信が必要
- ・グローバルな視点でのPRが必要
- ・本県へのU・Iターンを一層促進する必要

② 岩手へのつながりが地域活動への多様な参加や課題の解決などに結び付く「様々な主体の参画によるネットワークの形成」

### 【現状】

- ・「いわてのわ」のフォロワーを関係人口データベースと捉え、岩手への関わり方を発信
- ・これまで培ったつながりや成果を生かした、更なる関係の創出・深化に向けた取組の実施
- ・県内の若者同士のつながりの深化により若者団体の活動を促進
- ・地域おこし協力隊の受入拡大、活動充実、定着に向けた取組
- ・地域主体の戦略的な誘客に向けて、データ活用によるマーケティングプラットフォームを構築中

### 【課題】

- ・より多くの主体の参画へ結びつける岩手との関わり方の発信の強化が必要
- ・これまで培ったつながり等を生かしながら、岩手への想いやスキルを有する人と岩手をつなぐ、より多くのネットワークづくりが必要
- ・新たなつながりづくりの入り口となる観光客の獲得に向けたデータマーケティングの推進が必要

③ 情報通信技術(ICT)を活用したライフスタイルに合わせた働き方、地域貢献活動など多様な交流の場の創出

### 【現状】

- ・外部人材が地域課題解決等に様々な形で関わる機会を提供する仕組みの構築支援等により、地域課題解決への参画を促進
- ・本県での就農・農村暮らしに関する情報発信や農村体験機会を提供
- ・ローカル5G等を活用した地域課題解決モデルの構築を推進

### 【課題】

- ・他自治体と差別化した多様な交流の場の創出が必要
- ・外部人材と、外部のスキル等の活用を希望する地域団体・企業とのマッチングの促進が必要

## 今後の展開

- ① (1)整備した環境を活用し、ターゲットに対応した、より効果的な手法・内容による発信  
(2)UターンやIターンの促進に向けた取組の強化

- ② (1)これまで培ったつながり等を生かした関係性の一層の深化と新たな主体といわてをつなぐネットワークづくりの促進  
(2)観光客のニーズを踏まえた誘客促進により岩手と新たにつながりを持つ方々を増加

- ③ (1)岩手らしさを生かしながら、外部人材が参画する多様な交流機会の提供  
(2)岩手への想い等を有する人材と、外部人材等の参画により課題解決を希望する地域団体・企業の掘り起こし、マッチングの仕組みづくりの促進

## 令和5年度の具体的な取組

- 「関心」「関係」「拠点」を持つ各層への情報発信の充実
- 「拠点」を持つ層への誘導に向けた二地域居住等の促進を強化

### ① 環境の整備

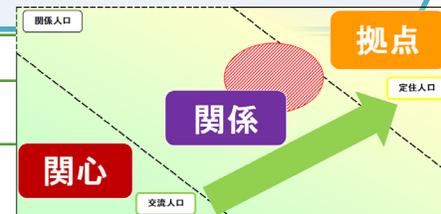
- (1) ○ 岩手の文化資源を生かした映像を活用し国内外に発信  
(いわての文化国際交流推進事業費 7 百万円[政プロ費])
- 岩手ファンと観光消費の拡大につながるプロモーション  
(いわての魅力まるごと発信強化事業費 13 百万円[政プロ費])
- 地域おこし協力隊制度を活用した地域振興等に取り組む地域外人材の活用  
(いわて地域おこし協力隊活動推進事業費 17 百万円)
- 県外大学生等へのお試し就業・お試し居住機会の提供  
(いわて暮らし応援事業費 166 百万円)
- 二地域居住等岩手に「拠点」を持つ層へ誘導するSNS「いわてのわ」を活用した情報発信の充実  
(関係人口創出・拡大事業費 11 百万円[政プロ費])

### ② ネットワークの形成

- (1) ● 「平泉世界遺産ガイドランスセンター」への訪問者が地域と関わりを持つ機会の提供  
(いわて県南歴史・文化観光推進協議会負担金 3 百万円[政プロ費])
- 市町村や(一社)いわて地域おこし協力隊ネットワークと連携した隊員間の交流の場の設定  
(地域おこし協力隊活動支援事業費 3 百万円[政プロ費])
- (2) ○ 「いわて観光データマネジメントプラットフォーム」による観光地域マーケティングの実施  
(いわての新しい観光推進体制整備事業費 49 百万円)

### ③ 多様な交流の場の創出

- (1) ● 就農・農村暮らしに関する情報発信、若者を対象とした農村再発見バスツアーの実施  
(農業農村関係人口拡大定着支援事業費 11 百万円)
- (2) ○ 外部人材のスキルにより課題解決を希望する県内の企業・団体と、スキルを生かして地域貢献を希望する複業人材のマッチング“遠恋複業課の推進”  
(関係人口創出・拡大事業費 11 百万円[政プロ費])



## 1 県内各地で関係人口に関する取組が進む

- 関係人口の創出・拡大に向けた取組が県内各地で展開
  - ・わたしと岩手の研究所(県南広域振興局)・盛岡という星で(盛岡市)
  - ・ラーニングワーケーション(陸前高田市、住田町) など
- 防災学習等に係る大学等との連携(ゼミ活動の受入れ等)(沿岸地域)
- ワーケーション対応宿泊施設やコワーキングスペースの整備が進む
  - ・tricolabo(トリコラボ)(二戸市)
  - ・国民宿舎くろさき荘「BLUE BASE FUDAI」(普代村)
  - ・洋野町にぎわい創造交流施設ヒロノット(洋野町)

など



## 2 岩手に関わる人々が増加

- 都市地域から地方に移住して地域活性化に取り組む「地域おこし協力隊員」数は、R元の178人から、**R3は210人に増加**
- 複業を通じて首都圏人材が県内企業・団体と関わる「**遠恋複業課**」で、**R元～R3で合計48件のマッチング成立**
- ふるさと納税では、**寄附額が大幅に増加**
  - ・ふるさと岩手応援寄付への寄附は、R元の1,413件 73,809千円から、**R3は3,958件(R元比 2.80倍) 144,367千円(R元比 1.96倍)に増加**
  - ・県内市町村への寄附は、R元の348,003件 6,365,849千円から、**R3は887,766件(R元比 2.55倍) 14,651,747千円(R元比 2.30倍)に増加**
- 「岩手わかすフェス」など、**首都圏でも岩手と関わる催し等**が開催



## 3 岩手に拠点を持つ人々の増加

- **R元～R3で合計4,092名が岩手に移住**
- **R3.3.31までに任期終了した地域おこし協力隊員193名のうち133人が県内に定住(定住率68.9%)**